

広報委員会 会議記録

1 日 時 令和5年4月17日(月) 午前10時00分開会

2 場 所 第二委員会室

3 出席委員

委員長	伊東英一
副委員長	岡本優子
委員	嶋村新一
委員	井出昌子
委員	広瀬優斗
委員	大和山太郎
委員	西田善昭
委員	戸張友子
委員	鈴木智明
委員	大谷茂範
委員	工藤鈴子

4 出席事務局職員

議事調査課長	川野康仁
議事調査課長補佐	鈴木美紀
議事調査課長補佐	大西真子
議事調査課長補佐	蓬田恭子
議事調査課主査	矢口岳史
議事調査課主査	四戸俊也

5 議 題

- (1) 議会だより第253号原稿の確認について
- (2) 第1回広報委員会の日程について
- (3) その他

6 会議の経過及び概要

委員長開議宣告	
議 事	
傍 聴 議 員	湯浅文議員、嶋原舞議員、柿沼光利議員、田中睦生議員、山中啓之議員
傍 聴 者	なし

(1) 議会だより第253号原稿の確認について

伊東英一委員長

(1) 議会だより第253号原稿の確認についてを議題といたします。

掲載原稿については、事前に確認をいただいておりますが、事務局より修正箇所があれば、先に御報告をお願いいたします。

議事調査課長

今回の修正箇所につきましては、特段ございません。

伊東英一委員長

それでは、各委員から御意見を伺いたと思います。

では、最初に1面、ページごとに確認をしていきたいと思っております。

1面、何か皆様で御意見ございますか。

嶋村新一委員

前号は、議長と副議長の就任の御挨拶があったのですが、今回、市川恵一議員が副議長に3月定例会で選ばれた、この挨拶はいいのですか。選出されましたというだけで、市川恵一副議長の短い挨拶などは入れないのでしょうか。

議事調査課長

前回は入れさせていただいたのですけれど、今回につきましては、急遽ということもございまして、挨拶は特に入れてございません。

伊東英一委員長

いかがですか。よろしいですか。

工藤鈴子委員

前回、副議長を選出した報告をされていて、今回また副議長選出というその背景について、辞職があったことについて、一切報告なく選出されただけでいいのかという疑問が1点と、文章の表現として、下の3月定例会のピンクというのか肌色の地の部分、囲みの中、どちらかといえば後半部分「一部の予算措置理由が認め難いとして委員から修正案が」という長い句読点のない文書があるのですけれど、その中で「措置理由が認め難いとして委員から修正案が」で「が」がまた続くのです。どこかで句読点を入れたほうがいいのかということと、「が」を二つ重ねるのではなくて「予算措置理由は」と変えろとか「理由を認め難い」とか、「が」「が」としないほうが読みやすいと思うのですけれど、細かいところではすみません、少し気になりました。以上2点です。

議事調査課長

辞職に関しましては、あくまでも、これは事務局でつくったものですから、もしそうしてもらいたいのであれば、入れることは可能かと思っておりますけれど。

工藤鈴子委員

辞職があつて選んだということですね。

議事調査課長

はい。

工藤鈴子委員

それに触れたほうがいと、私は思いまして聞きました。

伊東英一委員長

では、まず2点ありますので、今の1点目からいきましょう。

副議長の選出だけ、確かにこここのところで市川恵一副議長の写真が入っています。今の御指摘のとおり御挨拶もないという話もありました。ここに関してはいかがでしょうか。いわゆる、前任の副議長辞任に伴った文言か何かを入れるのか。何かこの辺り御意見はございますか。皆さんの御意見をいただいた上でどうまとめるか、このままでいくのか、決めていきたいと思ひます。ございますか。

嶋村新一委員

辞職の理由はともかく、市民の方は、市川恵一議員が——令和4年11月に市議会議員選挙があつて、新しく新議長と新副議長が選出されたのに、数か月でどうしてまた副議長が新しくなつてしまったのかと。やはり工藤鈴子委員が言うように、辞職に伴つてくらいは入れたほうがいいのではないかと思ひのですが、私は。

伊東英一委員長

ほかはどうですか。この件に関して、皆様の御意見を。

戸張友子委員

表現として、選出という書き方をしなければいけないのかわからないのですけれど、交代とか、そういったことはどうなのかなと思ひのですけれど。

伊東英一委員長

表現に関してはどうですか、事務局説明はありますか。

議事調査課長

選挙をやっております関係から、選出という言葉にさせていただきます。

戸張友子委員

それであれば、やはり唐突というか選出されまふと、いきなり書かれているので、やはりお二人が今おっしゃつたように、どういった理由で選出されたのかは、記載があつていいのかと思ひます。

伊東英一委員長

あと、ほかはいかがでしょう。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

そうすると、いわゆる唐突感があることから、前任の副議長が辞任されたので、新たに副議長が選任されましたというような文言を追記することでよろしいですか。

工藤鈴子委員

先ほど、指摘したところの枠内の「副議長が選出されました」という行が、下に余白があるので、今の表現ぐらいであれば、その中でおさまるのかと思うので、副議長が辞職をぜひ追加いただきたいということをお願いします。

広瀬優斗委員

今までも副議長とか議長は、辞職で交代していつているのです。その際は、辞職と入れているのですか。

伊東英一委員長

事務局でわかりますか。いわゆる、2年ごとに交代している——入れてはいないようです。

広瀬優斗委員

そのこの辺りはどうなのですか。

伊東英一委員長

私の記憶の限りなので、違ったらほかの方からも指摘いただきたいのですが、2年ごともしくは1年ごとで、議長もしくは副議長、もしくは各委員会の委員長、副委員長、交代をしています。

常任委員会の任期は2年でしたよね。正副の議長は4年という任期はありますが、それぞれの御都合により、慣例的なものも含めて2年で交代しているということがあります。その交代をする時には、議会だよりは、特には辞職に伴うとの表現は入れていないということです。

広瀬優斗委員

今回、鈴木大介元副議長は一身上の都合により辞職で、ここで副議長辞職に伴って選出ということを入れるのであれば、これからもそういった文言を入れるということ。いわゆる前例をつくるということです。

特に私としては入れる、入れないよりも、今後の前例になるので、という考えがあるのですけれど、そのこの辺りはどういう御意見なのか。

伊東英一委員長

今まで慣例という部分で来ていた、慣例という表現が、果たして適切なのかもありませんけれども、2年ごとに委員会と、それから正副議長が大きく交代していることで、全部が事実上代わっているの、特にあえて交代という言葉は使っていないで来たという私は認識しているのですが。

ですので、ここで3月の時期に交代することが、今までの松戸市の中ではイレギュラー的な内容なのです。ですから、そういう意味からすると、今回ここでそれを入れたから、今後それが全部そのままいくのか、そこはまた皆さんと議論する必要があるのかなという事は、委員長としては感じます。

広瀬優斗委員

皆様の御意見を伺って、全体で決めることだと思うので。

伊東英一委員長

今の御意見に関してはどうですか。

工藤鈴子委員

今、委員長が言われたように、通常は12月定例会に、一斉に各委員会、議長、副議長交代が普通ですから、この3月の時期、とりわけ12月から3月という短期間の中で、再び選出し直すことは本当になくことだから、通常の12月定例会の交代とは扱いを変えていいのではないかと思います。

伊東英一委員長

わかりました。そういう御意見もあります。

あと、ほかの方、今のお話を受けた中で、御意見はありますか。

大和山太郎委員

現実として今まで、途中で一身上の都合で議長、副議長が交代されたという事実はあったのですか。まれということは、1回ぐらいはあったということですか。

伊東英一委員長

事務局で過去の状況はわかりますか。

議事調査課長

記憶なので、いつとは言えないのですが、議長が亡くなった関係で、何十年か前でありますが記憶はしております。

大和山太郎委員

ということは、一身上で交代することは初めてということよろしいですか。

伊東英一委員長

よろしいですか、初めてですね。

何回も言うように、3月でのいきなりの交代ということは、恐らく初めてではないかと思えます。そしてイレギュラー的な内容であることは、事実だと思います。

先ほど、工藤鈴子委員がおっしゃっていたように、12月に大きく交代することがこれまでの松戸市の流れでしたので、12月の部分に関しては、特には問題ないと思っています。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

そうすると、今のお話をまとめますと、とりあえず、どこかのところに記載として、副議長の辞職によりという、その表現を入れていく形でよろしいですか。記載の方法に関しては、事務局で考えていただいてということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、そういう形でまとめさせていただきます。

工藤鈴子委員の2点目の部分の文章の部分に関しては、いかがでしょうか。事務局から御意見はありますか。

議事調査課長

そうしましたら、1回私どもで整理させていただいて、正副委員長と相談の上、決めさせていただきます。

伊東英一委員長

わかりました。では、そうさせていただきます。

では、ほかにございますか。1面の内容についてです。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、2面に行きます。2面では何かございますか。

嶋村新一委員

この賛否の態度なのですが、第70号議案と第78号議案の湯浅文議員と山中啓之議員ですね、たしか記憶によると、特に第70号議案は、山中啓之議員が市民力を代表してと、湯浅文議員と山中啓之議員の賛否が分かれることは、代表して、討論を述べているので、マル・バツが異なることはないのではないかなと思って、本人に確認したら、湯浅文議員と山中啓之議員は、第70号議案はバツ、反対していたと御本人はおっしゃっていたので、だから、確認していただきたい。

同じく第78号議案、相模台地区土地区画整理事業のところも、マル・バツが山中啓之議員と湯浅文議員は分かれていますのですけれど、ここも湯浅文議員、たしか反対したとおっしゃっているのも、事務局で確認していただければと思います。多分マル・バツがお二人で異なることは、私の記憶だとなかったのではないかと思うのですけれど。

伊東英一委員長

議員の賛否の部分に関しては、非常に重要な大事な部分になりますので、事務局でその控えというか、きちんとありますよね、当然、記録はね。その記録に基づいて、ここの内容に関しては再度確認し、そして訂正していただく形でよろしいですか。よろしく申し上げます。

よろしいですか、今の件に関しては。事務局の確認という形で……。

嶋村新一委員

提案なのですけれど、結局、無所属の方たちは、広報委員会に入っていないわけですね。それで賛否のことは、市民の負託を受けて、みんな議員になっているわけですから、これが間違っていると、かなり信用問題にもなるので、お一人お一人の議員の皆さんの。だから、現行全てとは言わないのですけれど、せめて賛否のところは、無所属というか広報委員会に入れたい議員の方たちにも見せたらどうかと思うのです。印刷する前にきちんと、これどうですかと。事務局で何度も確認はしていらっしゃると思うのですけれど、どうでしょうか。

伊東英一委員長

時間的なものとか物理的なものとして可能ですか。

今の御意見、皆様どうですか。

嶋村新一委員

貼りつけてメールで流せば、確認できますよね、一人一人。

大谷茂範委員

確認したほうがいいと思うのですけれど、基本的には電子採決でやっていますよね。ですから電子採決に関しては、議会が終わってから確認するというのはまた変な話で、その結果をきちんと、しっかりと事務局で確認していただければいいのではないかと思うのですけれども。

伊東英一委員長

事務局で電子採決に関しては、たしか翌日からの議会の録画を公開していますよね。ですから、そこで見えることはできる。

申しわけないです。非常に重要な話なのと、それから、違うということに関して、今、指摘の内容を確認できますか。事務局でどなたか、ほかの方、手を借りてでもいいので、今の賛否が違うかどうかという部分、電子採決の確認をとればいい話ですから、今それを確認していただけてよろしいですか。

ここに関しては、電子採決の部分が、画像として当然残っているはずですから、公開していますからね。その部分を、改めて確認したいと思います。

これは、では、後でまたやります。

あと、ほかはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

よろしいですか。

では、今のところを抜かして、先に進ませていただきます。

3面、いかがでしょう。3面は特にありませんか。

大谷茂範委員

これも細かい話ですみません。予算審査特別委員会の審査の一般会計予算修正案を可決しましたのところで、審査の過程において二つの案が提出されましたとあります。

ここの一つ目の案のマイセン関係経費を削除する修正案と、美術品管理と二つに分かれているのですけれど、括弧がついているので、ここの文章の中に「と」が入っているよりも、「と」を削除して、最後のところで「修正案2案が提出されました」というほうがいい気がするのですけれども。

伊東英一委員長

今の御意見どうですか。話、わかりますか。ページのところで、括弧の上、三つの議案がされていて、これがそのまま文章として「削除する修正案と」がついているので文章になっていると。それが下に続いているので、ここの「修正案」ということで「と」をとってしまって、上で一区切りにした上で、さらに、この下の美術品管理云々、修正案という、それで2案が提案されましたという表現にしたほうが、よりわかりやすいのではないかというお話です。

ですから、一連のつながっている文章を、それぞれの案ごとに切って2案がという表現のほうがよいのではないかということです。

よろしいですか。どうですか。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

それでよろしいですか。では、今、大谷茂範委員から提案がありました内容に、ここは修正をするようにお願いします。

あとは、いかがでしょうか。

鈴木智明委員

1点、3面の中段の上に、予算審査特別委員会の審査からというところで、一般会計予算の修正案を可決しました。その下の右の大きいしるしで、可決した修正案の提案理由の丸ポッチ二つ目、小さいところなのですが「大きな負担を伴う寄付は地方自治法上の負担

付きの寄附又は贈与を受けることに該当し」、その後なのですが「議会の議決を要する可能性があるため」という、可能性と書いてあるところが違和感を感じるなど思ったので、そこで皆さんの意見もお聞きしたいなど思っているのですが。

伊東英一委員長

可能性がある、何かこの辺りは、皆さんの御意見はございますか。
特に問題ないですか、このままでも。

岡本優子副委員長

実際の提案理由で、この言葉を使ったかどうかということの確認はとれるのですか。

伊東英一委員長

事務局でわかりますか。

議事調査課長

提案理由の中で可能性と申しています。

大谷茂範委員

これ多分、私が言ったからだと思うのですけれど、可能性と言っているのは間違いのないと思うのですが、どちらかという、受けることに該当する可能性があるのではないかというほうです、どちらかというね。全体を含めて可能性があるのではないかということの発言ですよ。

大谷茂範委員

理由の一つとして、何個かある中の一つとして挙げたということはあると思います。

伊東英一委員長

いかがでしょう。発言はされているということなので、よろしいですか。
このままでもよろしいですか。

鈴木智明委員

事実であれば。

伊東英一委員長

そういう形で、ここに関しては、提案理由のものとしているということにします。

伊東英一委員長

1回休憩させていただきます。

休憩 午前10時24分
再開 午前10時26分

伊東英一委員長

それでは、再開いたします。

まず、今までの1面、2面の中でのお話に少し戻らせていただいて、まず1面にあります副議長の話、先ほど広瀬優斗委員から御指摘があったように、辞職の記載に関する事なのですけれども、先ほど、私も慣例でという表現を使ってやらせていただきましたが、あくまでもそこに関しては、今、改めて事務局で確認をしたところ、2年であったとしても、慣例であったとしても、一身上の都合ということで辞職している状態の中で、今回も同じ理由ということからすると、今回そのように記載すると、それをまた次、記載するようになってしまうのではないかという、改めて事務局側から指摘がありました。

皆様と協議したいのは、慣例のものに関して、今後も載せていく必要があるのか、改めて、今回だけ特別に載せる必要があるのか。このところをはっきりさせておいたほうがよろしいのではないかという、そういう話でありましたので、改めて、このところだけ確認させていただければと思っております。

今回の御指摘の部分、あくまでも、この3月定例会の副議長の交代を今回限りで載せるという、私は先ほど皆様のお話の中で、そのように理解をしたつもりでいるのですが、それでよろしいですか。

休憩します。

休憩 午前10時29分

再開 午前10時43分

伊東英一委員長

再開します。

議会の中で今までにあった事実に基づいて、これまでの議会だよりにどのように記載するかを、改めて確認させていただきたいと思えます。

今、この副議長の辞職に関しての記載方法、いわゆる前副議長が辞職をしたことの記載を追記するか追記しないかについて、御意見がさまざまありますので、ここは、あまり広報委員会ではやりたくはないですが、賛否をとらせていただく形で決定させていただきたいと思えます。これでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、改めて確認をします。副議長の辞職に関しての記載を入れたほうがいい、追記したほうがいいと思われる方の起立を願います。

〔賛成者起立〕

伊東英一委員長

起立少数となりますので、ここに関しましては、追記しないことに決定させていただきます。非常に賛否を問わざるを得ない形になりまして恐縮でございました。

では、続きまして、2面のマル・バツの部分に関してであります。

これに関しては、事務局から御説明をお願いします。

議事調査課長

2面の審議結果、湯浅文議員のマル・バツの関係なのですが、最初の1稿目で確認したところ、きちんとバツになっていたのですが、先日、改めて広報委員会用として、おさめていただいたところで、バツに変わっていたところを見落としておりました。申しわけございません。

伊東英一委員長

御指摘のとおり、これに関しては記載ミスであることから、全面的に訂正する形をお願いします。改めて事務局をお願いしたいのは、やはり非常に重要な案件ですので、これに関しては、私たちも文言の部分とか、そのほかに関しては確認できるのですが、これに関しては、いただいてからの時間からすると非常に厳しいので、改めてチェックは確実にお願いしたいと思います。

よろしいですか。

嶋村新一委員

先ほど提案した、無所属の方にもここだけでも確認していただくことは、伊東英一委員長と岡本優子副委員長と事務局で相談してもらってもいいですか。

伊東英一委員長

正副委員長で預からせていただきます。承知しました。

では、戻りまして、3面のところは、先ほど文言の訂正があったのですよね。

では、その先へ行きます。4面はいかがでしょうか。

戸張友子委員

立憲民主党の最後から7行目のところから「記載があるが」「自然減によるものが」ということで、「が」が続くので、最後から8行目の上段のところ「あるが」のところ、句読点を打っていただきたいのですが。

伊東英一委員長

「あるが」で点を打つ。

戸張友子委員

「記載があるが」のところを点で打っていただきたいのですが、その下にもまた「あるが」とあるのですが、「が」がやはり続くので、この2個目の「あるが」のところを点で打っていただきたいのですが。

伊東英一委員長

これは問題ないですね、事務局。わかりました。

戸張友子委員

お願いします。

伊東英一委員長

あとはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、5面に行きます。

5面では、何かございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、6面にまいります。

6面ではいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、7面に行きます。

7面では、何かございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、最後、8面に行きます。

8面は何かありますか。よろしいですか。

鈴木智明委員

最後、編集の窓のところなのですが、後ろから5行目の「本郷谷健次市長をはじめ、執行部の皆さんには」と書かれているところがあるのですが、編集の窓の部分で、これまでのものを見ていて、若干違和感を感じているのですけれど、その辺りいかがですか。

伊東英一委員長

ほかの委員の皆さんはいかがでしょうか。特には問題ないですか。

広瀬優斗委員

どういった違和感ということですか。

鈴木智明委員

これまで議会で、さまざま個人の委員に皆さん任されて、編集の窓を書かれているのですが、その部分で若干書き方というか、その辺りに違和感を感じると思っていて、入っている人のいろんな思いとかさまざまあるのですけれど、その辺りです。

伊東英一委員長

どうですか皆さん、特には問題ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

よろしいですか。私もこの紙面上で、執行部側に議会側からの要望というか、そういう部分の表現が入っているところはどうかのかなという気がしないではないのですが、皆さんから特に問題ないことであるならば、事務局としては特に問題ないですね。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

特には問題なしということです。

では、以上で確認の作業を終わらせていただきます。

改めて今、指摘のあったところを確認させていただきたいと思いますので、事務局お願いいたします。

議事調査課長

まず、1面でございます。

3月定例会の右の下でございますが、特に、4段落目の「一部の予算措置理由が認め難いとして委員から」という欄なのですけれど、「が」がすごく続くというところで、句読点を打たせていただきたいということが1点。

あと、2面でございます。

先ほども申しあげましたけれど、湯浅文議員のところのマル・バツの表記をバツに修正させていただきたいと思います。

続きまして、3面、「一般会計予算の修正案を可決しました」の中の「審査の過程において」のところのですけれど、3行目の「修正案と」というところの「と」をとります。その後の括弧のくくりの中で、下の括弧のところの「修正案の案が提出されました」を含めたいと思います。

伊東英一委員長

ここに関しては「が提出されました」の前に、「2案が提出」……。

議事調査課長

はい、「2案が提出されました」という形になります。

工藤鈴子委員

今の修正内容でいいですか。

伊東英一委員長

はい。

工藤鈴子委員

最後の美術品管理業務の下にある「修正案」は残るのですか。それを下の「修正案が提出されました」につけるのですか。まだ、多分十分整理されていないような気がするのですけれど。「美術品管理業務のみを削除する」で切れば、その括弧はなくても、「修正案2案が提出されました」で下に1行、括弧は括弧としてあったにしても、「修正案」が上につかなくて下に行けばいいのではないのですか。「修正案2案が提出されました」という直し方。意味通じるかしら。

伊東英一委員長

私のほうで、もう一回整理します。1行目の上から順番に読んでいきますと、一般会計予算の審査の過程において、シルバー人材センター云々、常磐線云々、美術品管理云々を削除する修正案で切れます。それで「と」は削除、そして次の行で、美術マイセン云々削除する修正案、ここまでで一つ。

そして「が提出されました」の「が」の手前に「の2案が提出されました」。

工藤鈴子委員

そうしたら、上は残しておく……。

伊東英一委員長

残します。ですから、それぞれ上のところの括弧の最後で修正案。それから、二つ目の括弧の最後で修正案「の2案が提出されました」。先ほどの御意見は、これでしたよね。

大谷茂範委員

そうですね。

伊東英一委員長

そうですね。

工藤鈴子委員

改行するからわかりにくくなる。改行しないで続ければ意味は通じる。

伊東英一委員長

スペースの関係です。よろしいですか。

議事調査課長

続きまして、4面でございます。

4面の一番下、立憲民主党のところなのですが、最後の左から8行目の先頭の「あるが下水道事業」の間に点を入れる形になります。

伊東英一委員長

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、ほかに御意見がないようですので、掲載原稿の確認に関しましては、以上で終了とさせていただきます。

字句、その他、整理を要するものにつきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思います。また、今回確認していただきました原稿に関しては、校正用のものであることから取り扱いにつきましては、十分御配慮いただければと思います。

(2) 第1回広報委員会の日程について

伊東英一委員長

続きまして、(2) 第1回広報委員会の日程について、事務局から説明をお願いいたします。

議事調査課長

第1回目の広報委員会につきましては、6月定例会招集日の本会議終了後を予定しております。したがって、次回の広報委員会は、6月9日金曜日、本会議終了後でございます。よろしくお願いいたします。

伊東英一委員長

次回の広報委員会は6月9日、本会議終了後とのことですが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

伊東英一委員長

では、さよう決定させていただきます。

(3) その他

伊東英一委員長

続きまして、(3) その他について、何か御意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長散会宣告
午前10時57分

委員長 署名欄	
------------	--